

平成22年6月定例会は6月1日に開会し、24日に閉会しました。

今議会には、予算関係では、21年度の一般会計と簡易水道事業など3特別会計予算の専決処分の承認や、22年度の一般会計と国民健康保険事業など4特別会計の補正予算が、また、条例関係では、美山和泉交差点観光交流広場設置条例などあわせて8件の条例の制定や一部改正などが提案され、14日から16日にかけて開かれた各常任委員会で具体的に審議したのち、24日の最終本会議で、いずれも原案とおり承認・可決しました。

一般質問は9日から11日までの三日間行われ、15人の議員が質問に立ち、市政を質しました。そのほか、議会の活性化を検討する議会特別委員会の設置や副市長選任などが提案され、いずれも原案どおり可決、同意しました。

平成22年度

特別会計補正予算(第1号)

全員賛成

可決

会計名	補正前の額	補正額	現在額	概要
国民健康保険事業	34億4,520万円	265万円	34億4,785万円	国保連合会電算機器更改整備負担金
介護保険事業	29億8,360万円	375万円	29億8,735万円	包括的支援事業の充実など
簡易水道事業	6億4,530万円	3,946万円	6億8,476万円	老朽管の更新など
下水道事業	28億4,030万円	130万円	28億4,160万円	雨水排水事業など

平成22年度一般会計補正予算(第1号)【全員賛成】可決

3億9,918万円を追加し、
総額 198億1,718万円に

歳入の概要

- 市税……………7,270万円追加
固定資産税償却資産分
- 分担金及び負担金……………1,015万円追加
鳥獣害防止総合対策事業分担金
- 国庫支出金……………2,782万円追加
合併市町村補助金(新規)など
- 府支出金……………8,198万円追加
地域子育て創生事業補助金など
- 繰入金……………350万円追加
義務教育施設整備基金から繰入(新規)
- 諸収入……………1,053万円追加
国民文化祭の市町村運営助成交付金(新規)など
- 市債……………1億9,250万円追加
道路橋梁整備事業のための借入れなど

合計…………… 3億9,918万円

歳出の概要

- 総務費…………… 2,242万円追加
まちづくり活動支援交付金(新規)など
- 民生費…………… 852万円追加
地域子育て創生事業費(新規)など
- 衛生費…………… 3,044万円追加
簡易水道事業特別会計への繰入金など
- 労働費…………… 463万円追加
緊急雇用創出事業費
- 農林水産業費…………… 4,995万円追加
野生鳥獣被害総合対策事業など
- 土木費…………… 2億6,335万円追加
道路新設改良事業など
- 消防費…………… 1,060万円追加
木造住宅耐震改修事業補助金など
- 教育費…………… 927万円追加
学校図書館有効活用方法調査研究事業(新規)など

合計…………… 3億9,918万円

主な質疑

- 各委員会での
- 問 美山和泉交差点観光交流広場において、指定管理者の会社と振興会が共催で催しを行った場合の利用料の扱いは。
 - 答 市が主催する行事、広く市民を対象とした公益性の高い行事、その他市長が認めた行事があり、地域振興のため使用された場合は免除となる。
 - 問 園部地域のCATV光ケーブル化はいつ頃か。
 - 答 25年度を目途としているが、今年度計画の予定。
 - 問 美山中学校でコミュニティ・スクール推進研究事業に取り組みとあるが、今後全校に展開するのか、また、学校評議員制度との関連は。
 - 答 本格実施にあたっての事前指定研究として2年間美山中学校で実施する。補助金がなくても学校・家庭・地域が一体となった学校運営が必要。学校評議員制度

反対討論(要旨)

松尾 武治 議員

専決処分

平成21年度
南丹市土地取得事業
特別会計補正予算
(第5号)について

契約の成立も考慮するとしても全額残すのではなく、3筆のうち1筆分を残し、2筆分を3月議会で減額補正するのが適切な処理と考える。3月議会において、減額補正ができるにも関わらず、専決処分した行為は、到底容認できるものではない。本議案のような議案を軽視する行為に対し、議会は毅然たる態度で不承認を示し、専決処分の内容について検討を促す必要がある。

議案では、議会活性化が叫ばれているが、本議案のような議会軽視に対して、異議を唱えることから、議会の活性化が始まる。議員諸兄の賢明なる判断を仰ぎ、反対の討論とする。

- 問 とは別。
- 問 有害鳥獣の防護柵設置の補助対象が原則3戸以上となっているが、3戸未満なのは難しい実態。見直しの検討は。
- 答 原則3戸以上で補助対象となるが、2戸分の耕作地しかない場合は対応を検討する。
- 問 小字ごとで防護柵を設置しても追いつかない。追加や補強などの要望への対応は。
- 答 集落全体を囲むような山裾への防護柵の設置を検討している。
- 問 市開発行為等の基準及び手続に関する条例の一部改正で、都市計画区域外ではどのようなものか。
- 答 美山、日吉地区において土砂災害防止法の警戒区域指定が進んでいるが、特別警戒区域に指定されると、両地区では建築確認申請が必要となり、既存宅地での改装が困難となることから、1千平方メートルまでの開発条例の適用を除外しようとするもの。
- 問 地域子育て創生事業の若者の出会い応援事業の内容は。
- 答 出合いの場としては、農業、陶芸、ものづくり、カヌー、かやぶきの里など市の地域資源を活用し、地域の行事などと連携した取り組みを検討。さまざまな団体から取り組みたいとの要望がある。
- 問 包括的支援センター事業の北部拠点はどこか。
- 答 社協の本庁を北部拠点とし、もう一カ所検討する。
- 問 外出支援サービスの実施要項では、80歳でサービスの打ち切りという規定はない。このサービスは、利用したいときに利用できない実態がある。
- 答 外出支援の重要性は認識している。福祉サービスを受けられる人と公共交通機関を利用できる人との間にいる人に対する外出支援について、タクシー業者、福祉有償運送事業者、一般のサービスマン提供者と今年度中には結論を得るべく調整中。